

①回答状況

回答状況

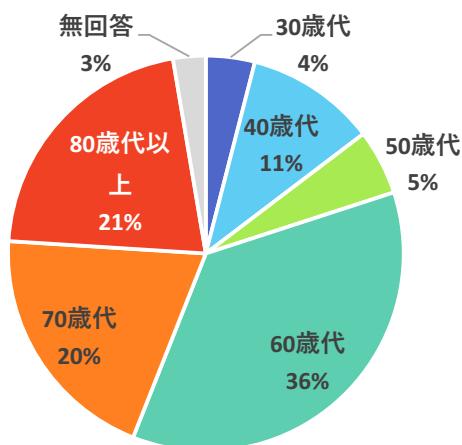
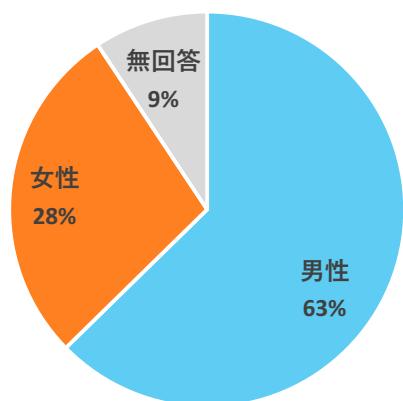
- 12月上旬に島内全世帯に郵送でアンケート調査票を配布
- 75世帯、95名から回収

性別

年齢

- 世帯代表者としての回答は、男性が6割、女性が3割であった

- 60歳以上の回答が約8割を占める

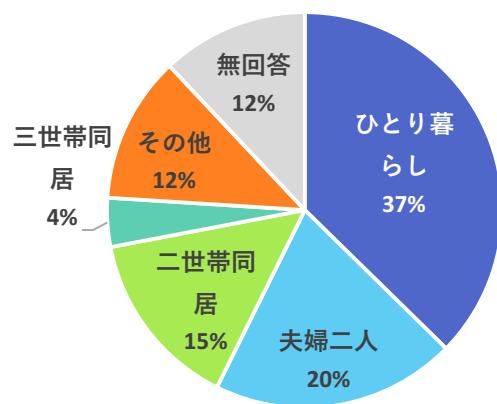
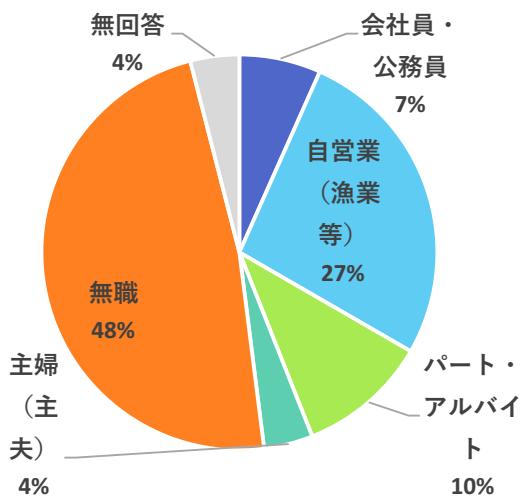


職業

世帯構成

- 無職の方が半数、自営業が3割となっている

- ひとり暮らし世帯が4割を占め、多世代同居世帯は2割にとどまる



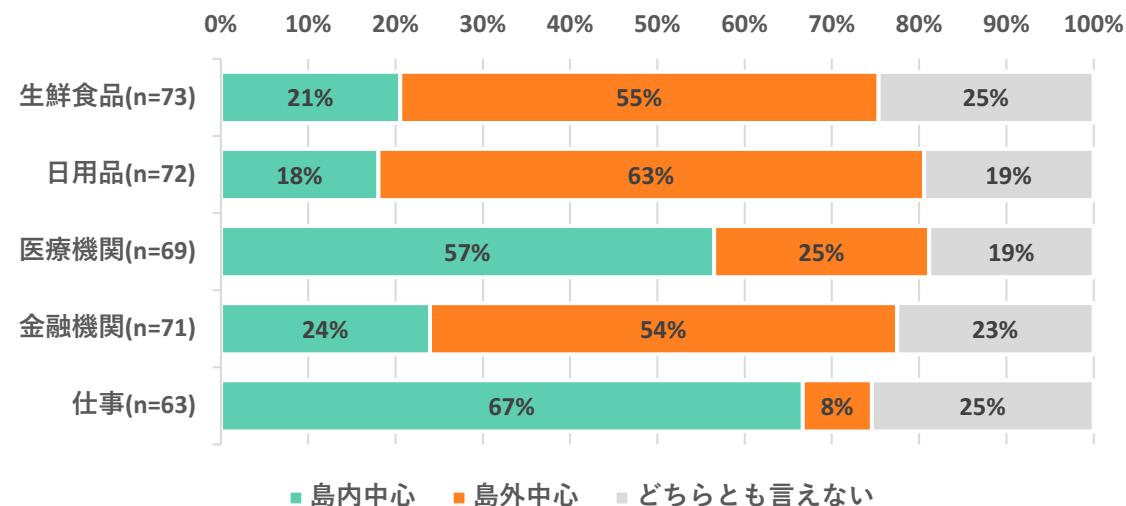
回答者の属性

②島内での生活状況等

島内での生活状況等

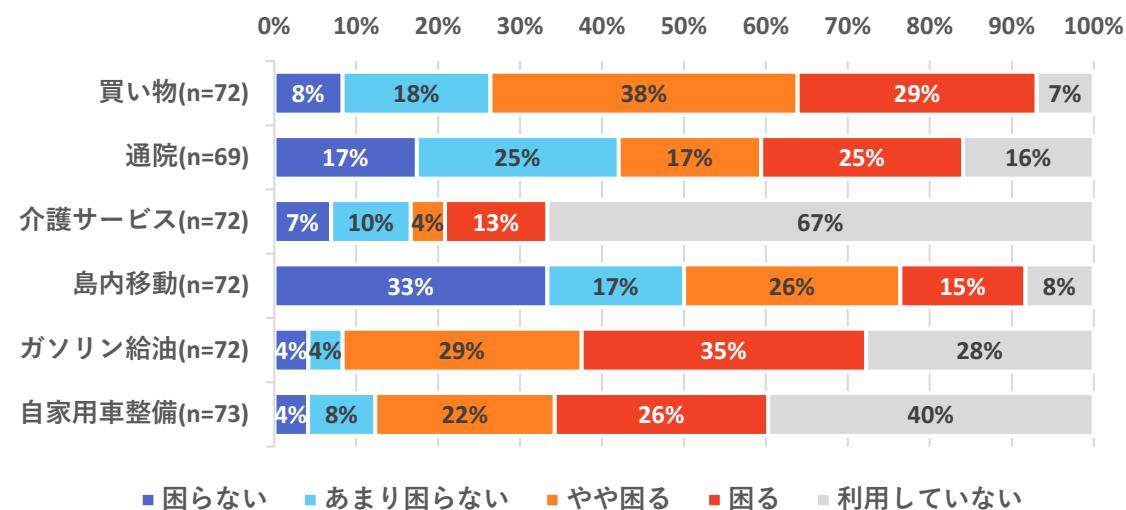
日常生活の島外依存状況

- 生鮮食品、日用品の購入、金融機関への訪問は島外への依存度が高い
- 購買行動は島外訪問時に一括で実施していると予想される
- 医療機関は島内への依存度が高く、津堅診療所の利用が想定される



日常生活の困りごと

- 日常生活における困りごとは、買い物、ガソリン給油、自家用車整備に困っているとの回答が多い
- 通院や島内移動は困る・困らないがほぼ同程度となっている
- 介護サービス利用者は少ないが、困窮度はあまり高くない

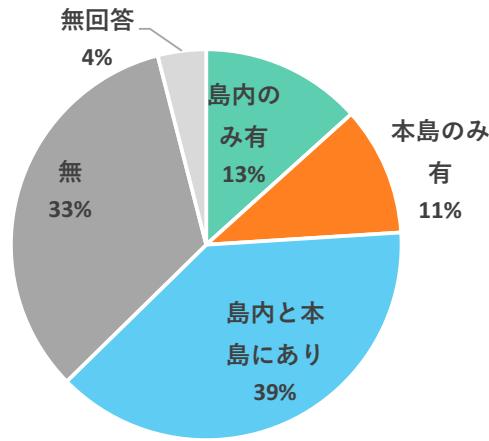


②島内での生活状況等 (つづき)

自家用車の所有状況

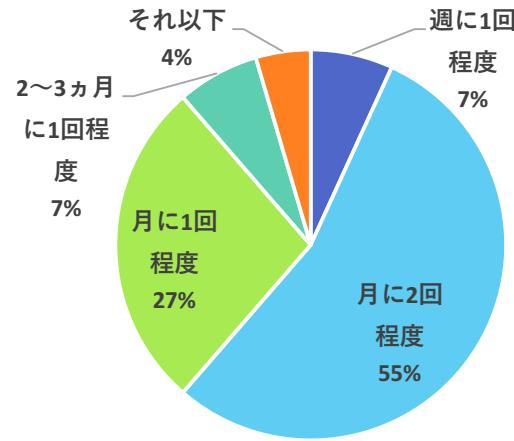
車両保有状況

- 島内に車両を保有する世帯が半数を占める
- 島内・島外ともに車両の無い世帯は3割となっている



燃料の給油頻度

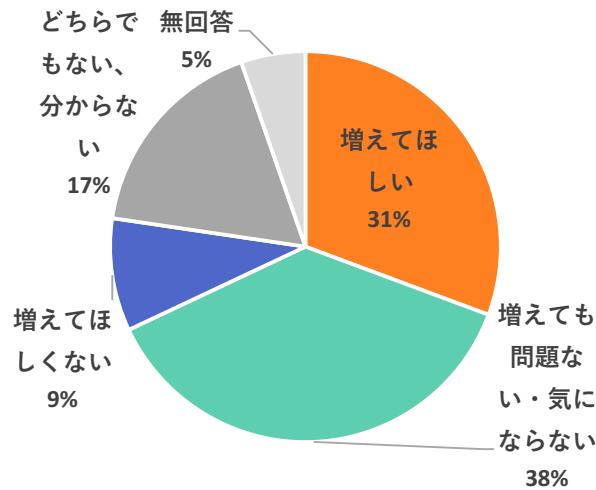
- 月に1~2回程度の給油が多い



観光来訪者の受入意向

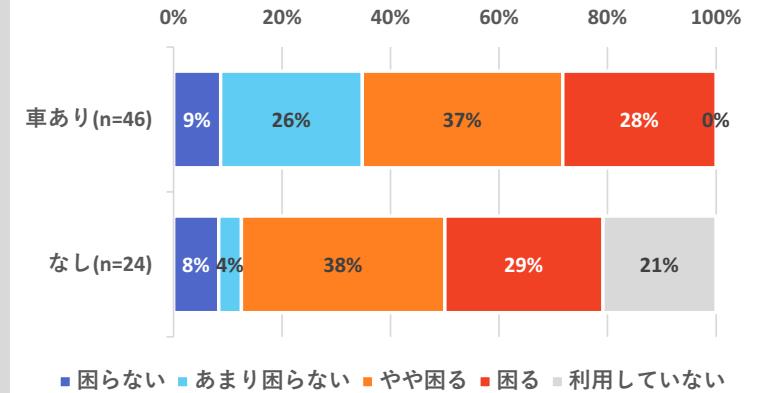
観光来訪者の受入意向

- 観光来訪者の受入意向は高く、7割が増えてほしい・増えても問題ないとの意向を示している



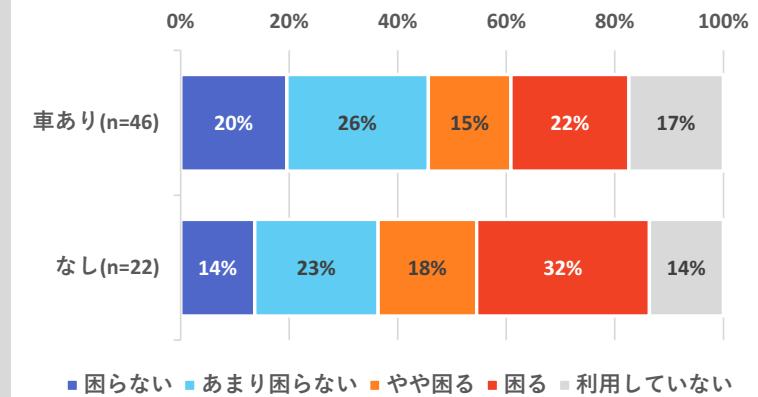
買い物

- 自家用車の無い世帯のほうが買い物への困窮度が高い
- 自家用車がない世帯では、「買い物をしない」との回答も2割あり、他者に買い物を依存していると予想される



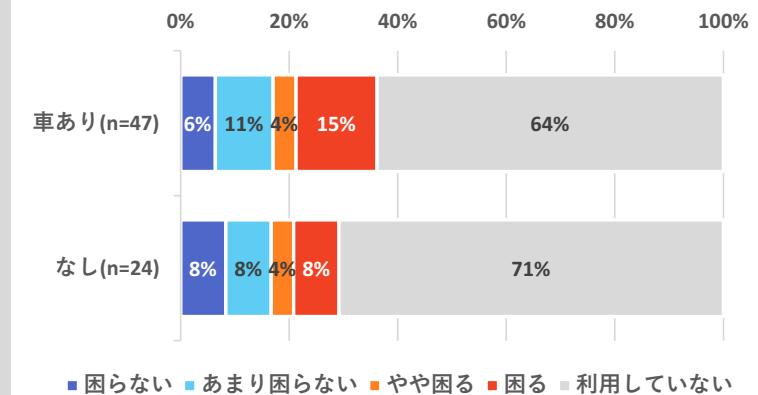
通院

- 通院利用においても、自家用車の無い世帯のほうが困窮度が高い
- 通院は島内の診療所利用が多いものの、島内移動時にも移動に困っていると推察される



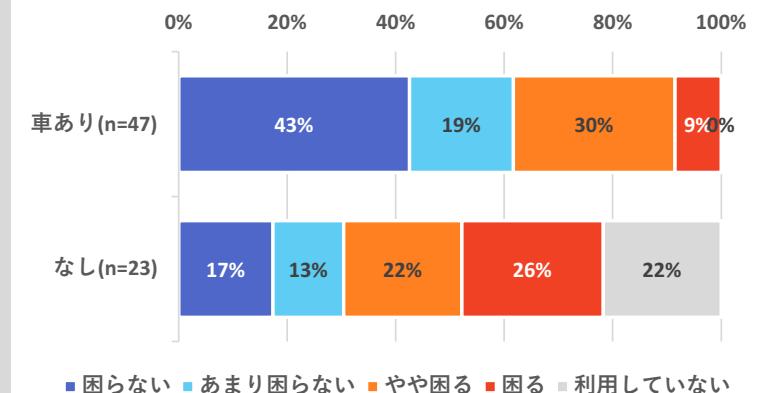
介護サービス

- 介護サービスの利用率は自家用車の有無にはあまり影響がない



島内移動

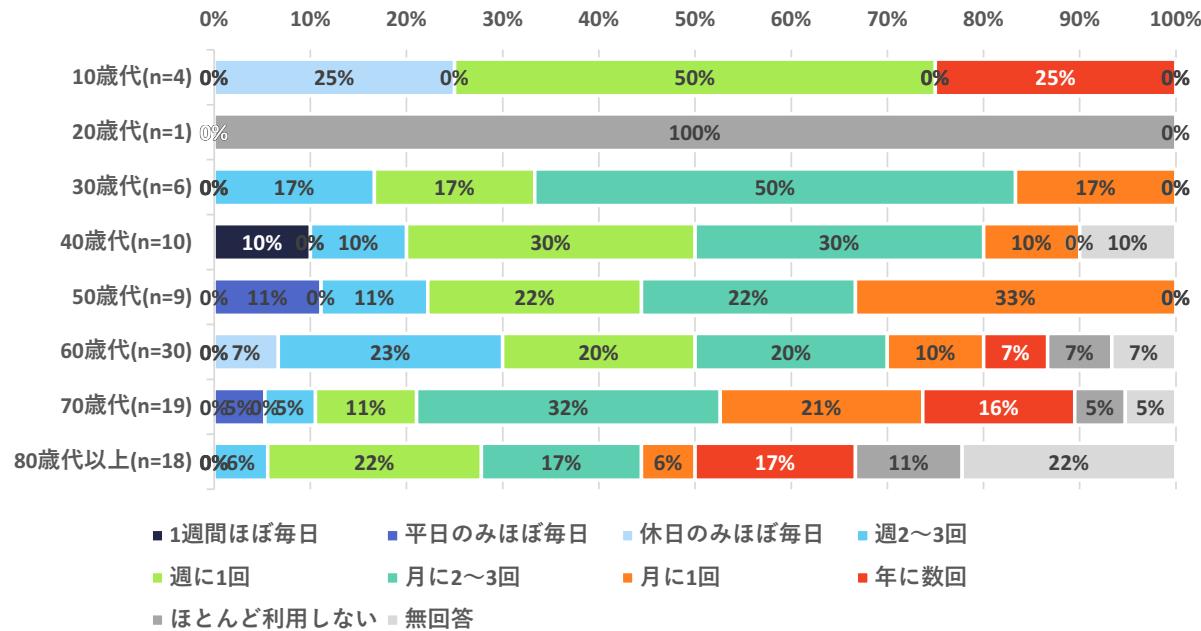
- 自家用車の無い世帯のほうが島内移動に困る割合が高いが、車のある世帯でも島内移動に困る世帯が4割存在する
- 車の無い世帯の場合、「島内移動しない」との回答も2割存在する



③島外への移動状況

本島への渡航頻度

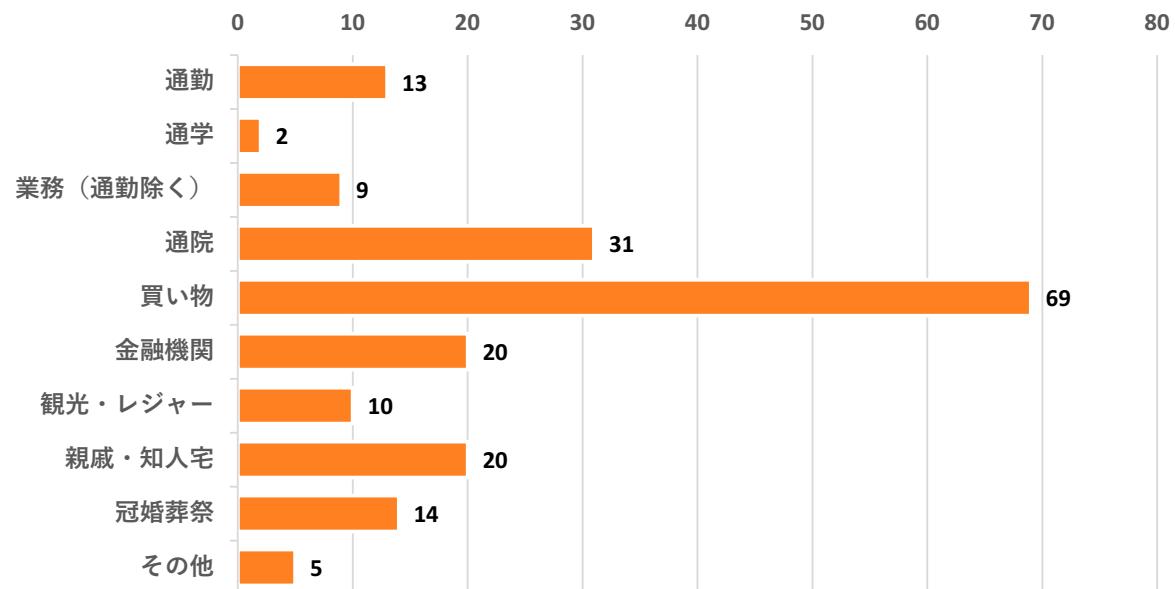
- 年齢層が高いほど、本島への渡航頻度は減少する傾向にある
- どの世代も、週に1回や月に2~3回の渡航が半数前後を占める
- 週に2~3回以上の高頻度で渡航する方は70歳未満で2割前後であり、70歳以上では1割以下にとどまる



島外への移動状況

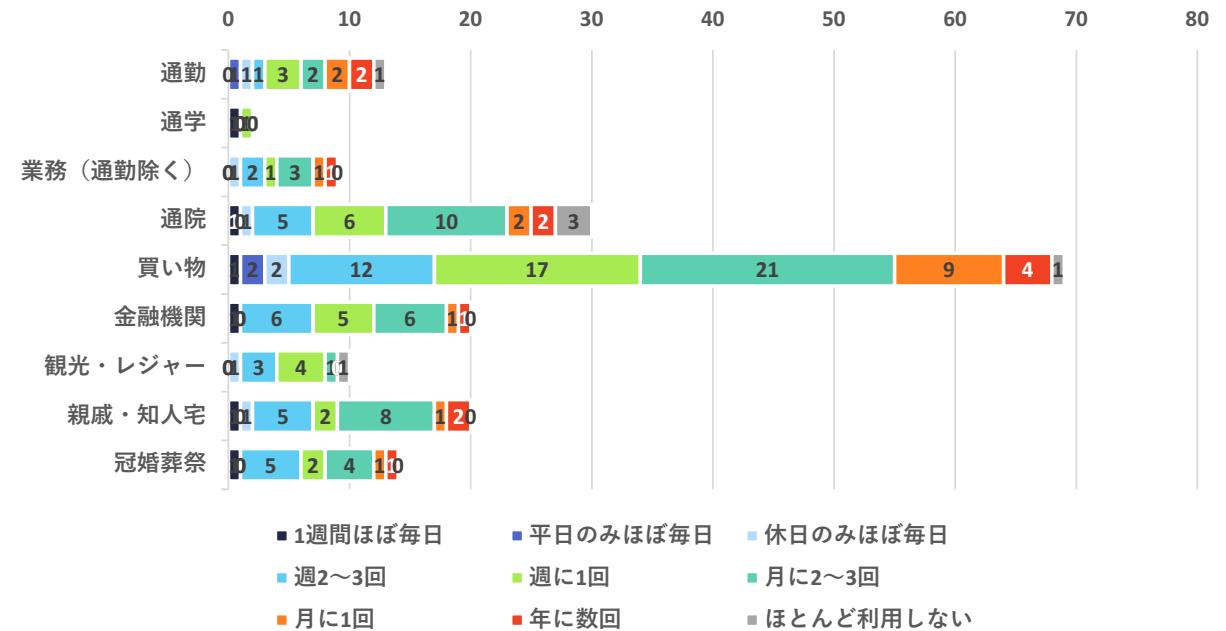
航路利用時の移動目的

- 本島に渡航する際の移動目的は、買い物目的が最も多く、95名中69名が回答している
- 通院目的でも31名が回答しており、比較的多い移動目的となっている



移動目的 × 渡航頻度

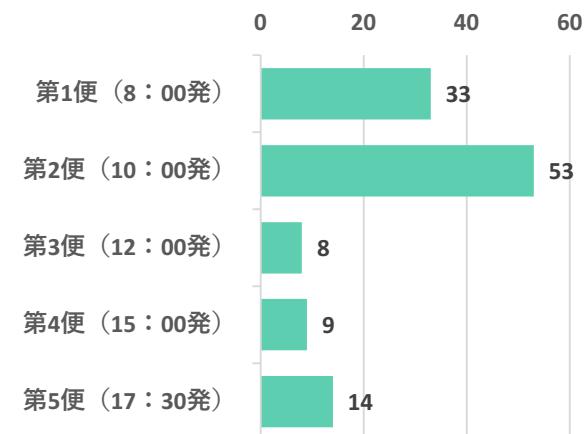
- 移動目的の多い、買い物・通院では、航路の利用頻度は週2~3回から月に2~3回との回答が中心となっている



島外への移動状況

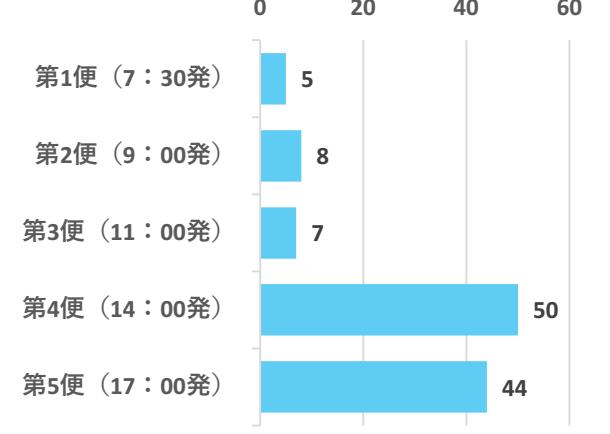
津堅港 → 平敷屋港

- 島民が本島に向かうのは、第1便または第2便が中心となっている



平敷屋港 → 津堅港

- 本島から津堅島に戻るには、第4便または第5便が中心となっている

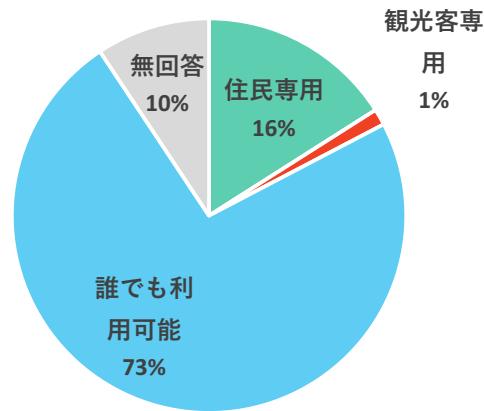


④ 島内の移動サービスの利用意向

移動サービスの内容について

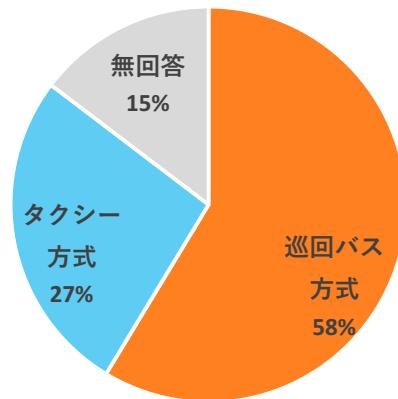
利用対象者

- 利用対象者は限定しないとする回答が7割を占める
- 住民専用との意見も2割弱存在する



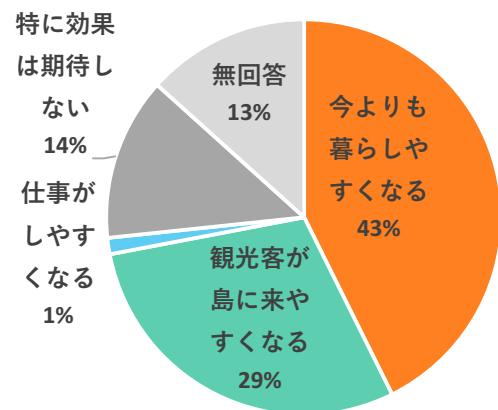
運行方式

- 期待する運行方式は、巡回バス方式が6割、タクシー方式が3割となっている



期待する効果

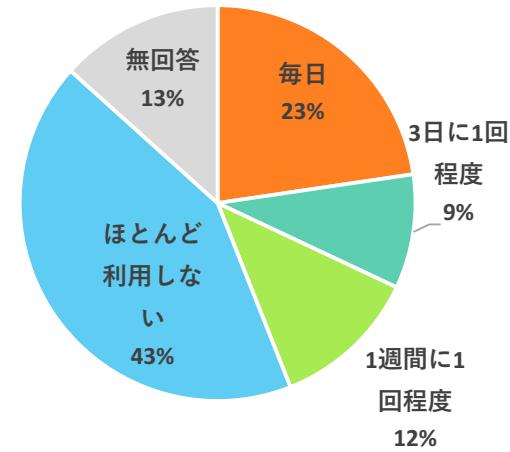
- 移動サービス導入により期待する効果としては、暮らしやすくなることが4割、観光しやすくなることが3割となっている



移動サービス導入による効果

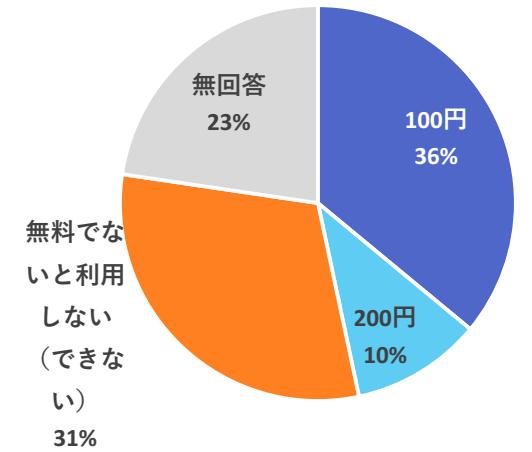
利用頻度

- 巡回バス方式の場合、利用頻度は毎日との回答が2割を占め、高頻度で利用したいニーズがある
- 利用しないとの回答は4割であった



料金の支払い

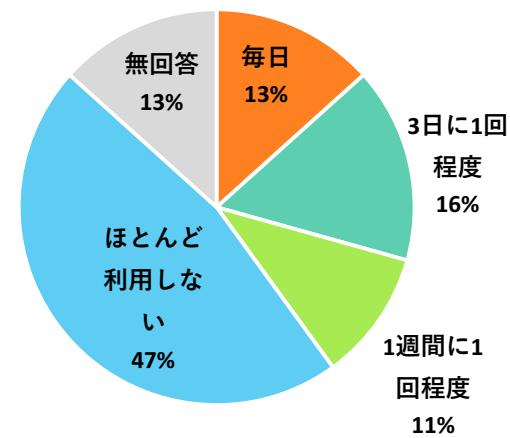
- 料金は100円が4割弱と最も多く、無料が3割となっている
- 比較的安価な利用を期待している



巡回バス方式の利用意向

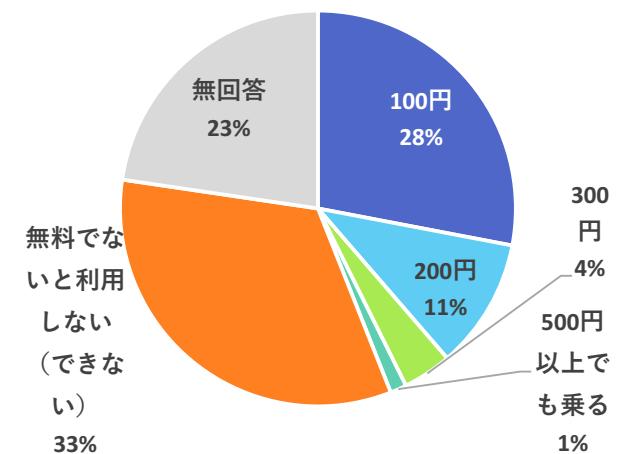
利用頻度

- タクシー方式の場合、利用頻度はバス方式よりもやや低く、利用する回答の中では3日に1回程度が最も多い
- 利用しないとの回答は5割弱であった



料金の支払い

- 料金は100円が3割弱と最も多いが、バス方式よりもやや支払い意思額は高くなっている
- 無料との回答は3割を占める



タクシー方式の利用意向

利用する発着地

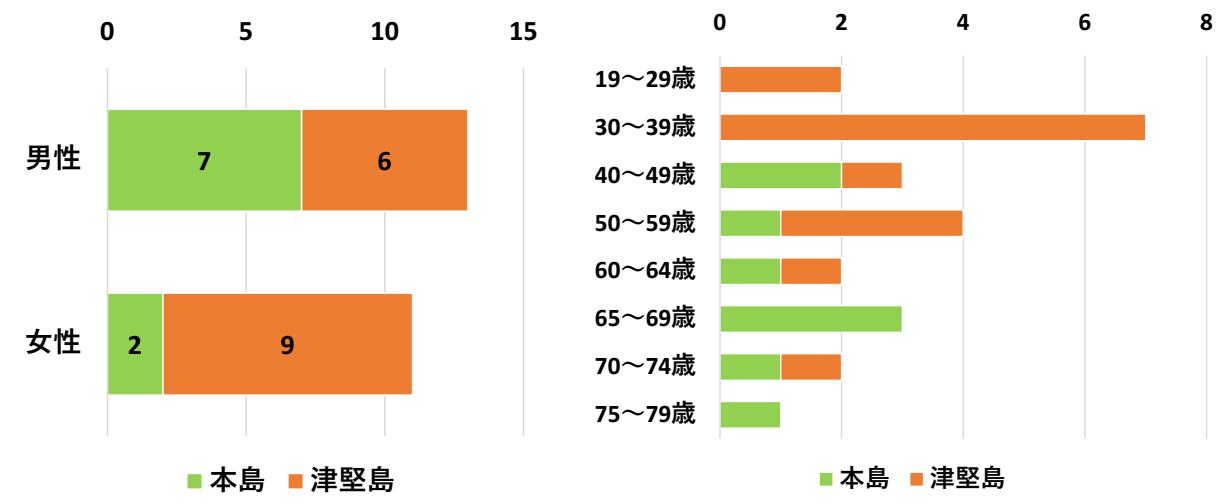
- 発着地は、津堅港ターミナルと自宅がほとんどであった
- 島内の他施設では、公民館、診療所が挙げられた

① 回答状況

回答状況

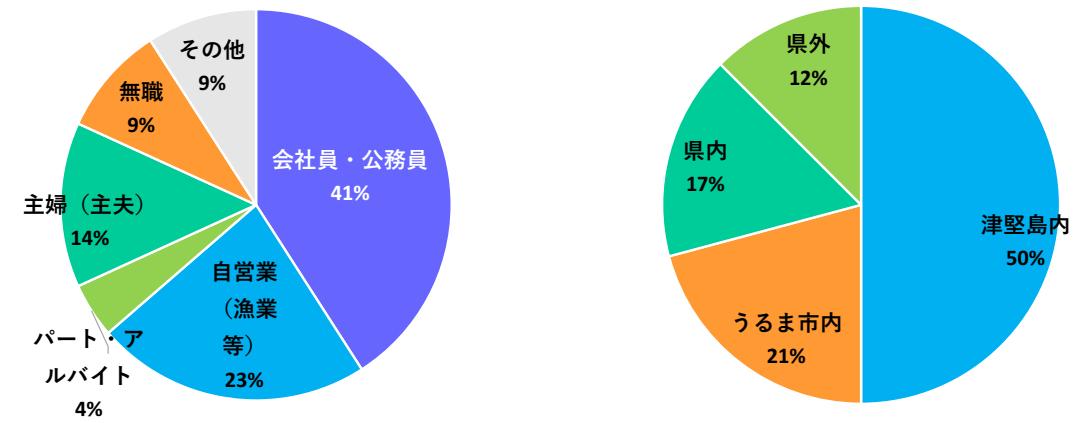
- 2/1に津堅港でアンケート調査を実施（2～4便目の調査を実施）
- 24名から回収
- 凡例が「本島」の場合本島訪問者、「津堅島」の場合津堅島訪問者を示している

性別	年齢
● 世帯代表者としての回答は、男性が6割、女性が4割であった	● 幅広い年齢層の来訪が確認された ● 津堅島に訪問する人の方が本島に訪問する人と比較して、若年層が多かった



回答者の属性

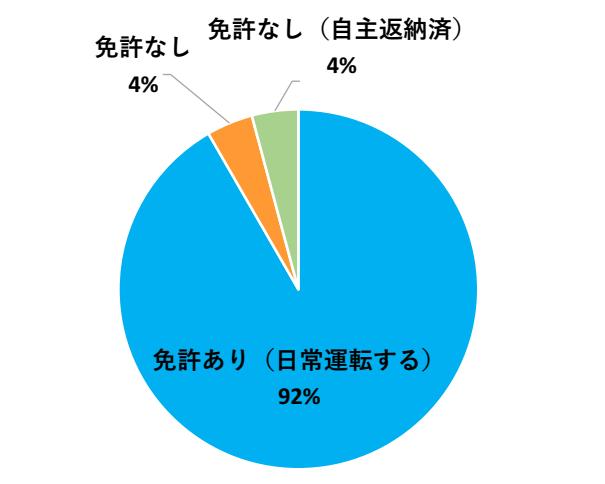
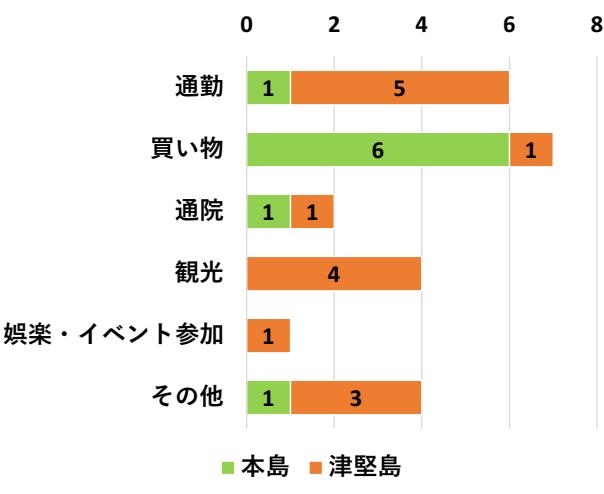
職業	居住地
● 会社員が4割、自営業が2割となっている	● 津堅島島内住民が半数を占めた



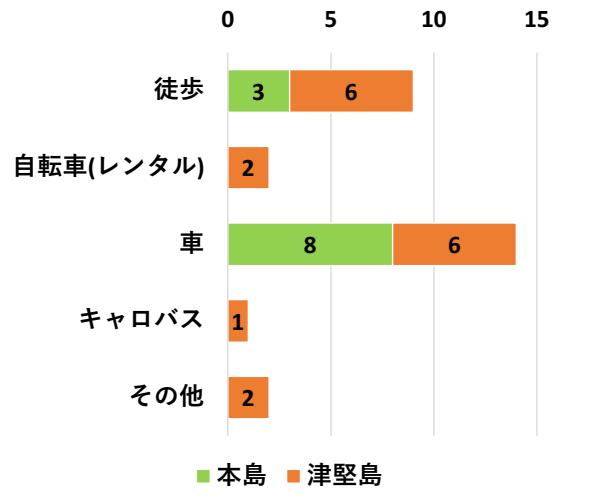
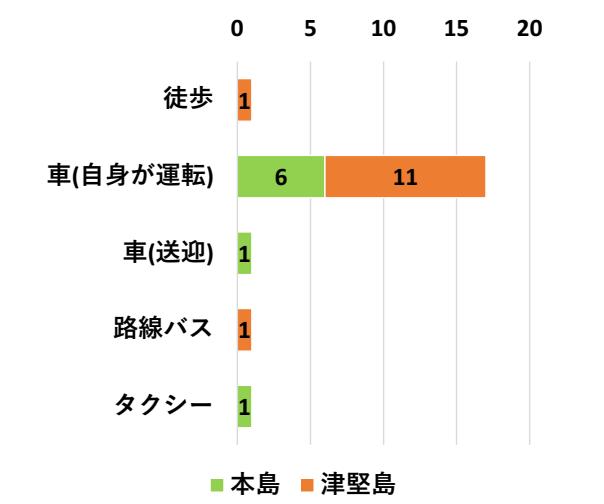
② 航路利用状況等

移動について

外出目的	運転免許証の有無
● 通勤者が2.5割、買い物が3割であった ● その他の目的として告別式や親族の家に訪問が挙げられた	● 免許を保持し、日常運転的に運転する人が9割を占めた



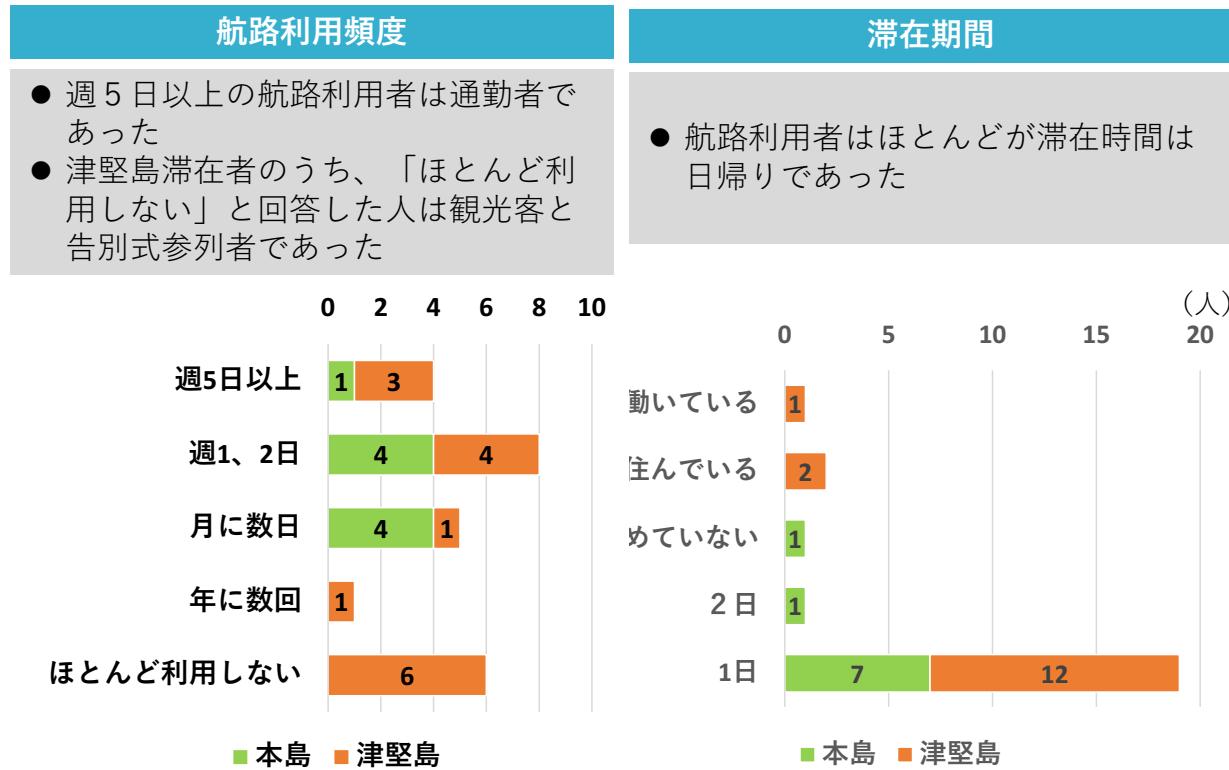
平敷屋港までの移動手段	島内移動手段
● 本島内での港までの移動は車（自身が運転）が7割を占めた	● 島内移動は車、徒歩多数を占めた ● キャロバスでの移動を予定する人は1名であった



手荷物

- 自身の手荷物のみで移動している人が9割を超えた
- 島内の家族等への荷物を運ぶ人は少数であった
- 本島からの荷物は本島の人に船に載せてもらい、港で受け取る事が多いと考えられる

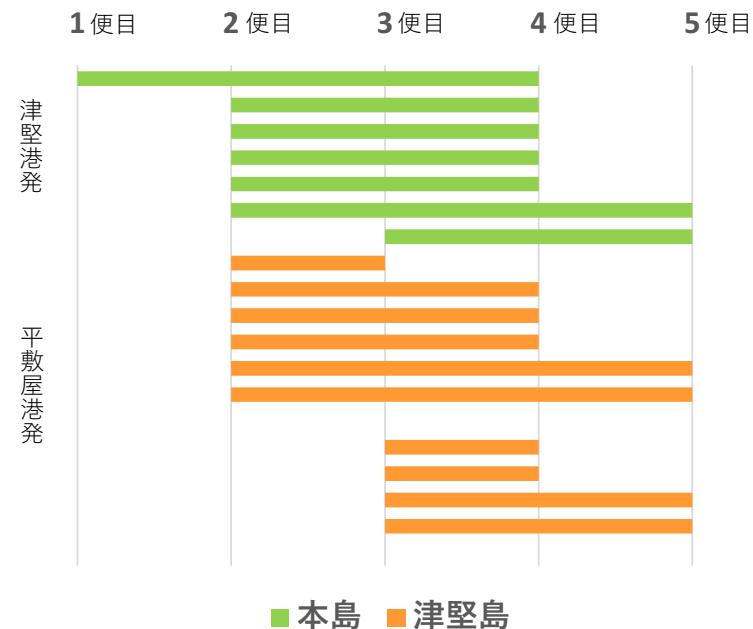
② 航路利用状況等 (つづき)



利用便と訪問先滞在時間

- 訪問先に1日滞在する人の滞在時間と利用便を示している
- 調査結果の範囲では、行きは2便、帰りは4便を利用する人が多かった

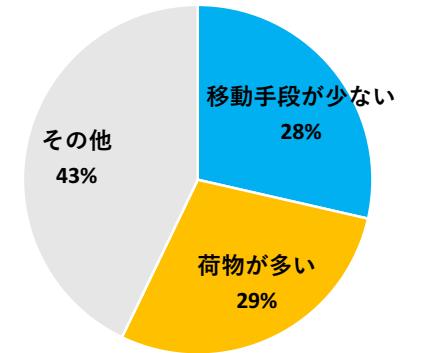
訪問先滞在時間 (便)



③ 滞在時の困りごと

困りごと

- お年寄りの移動
- 畑周辺にトイレがない
- 雨の日など徒歩では不便
- 坂がきつくて、自転車だと不便を感じた
- 電気自動車の増便
- 同居者は免許がないため、島内の移動が大変



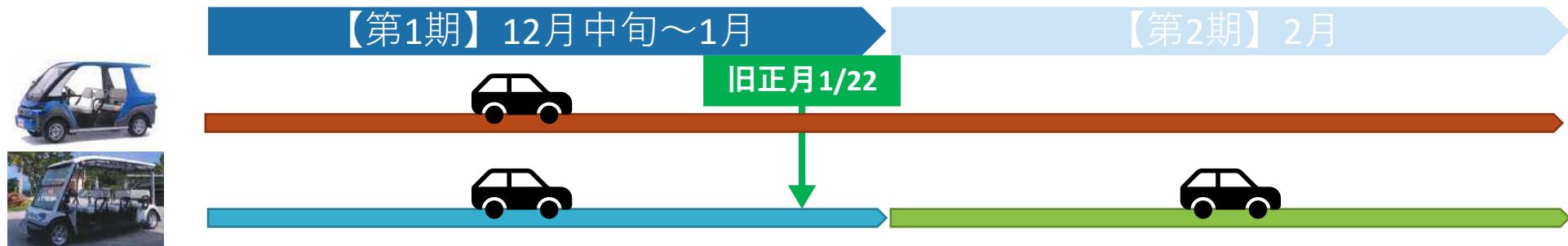
④ 自由意見

自由意見

- キャロタク、キャロバスが続いていったらいい。
- キャロタクの使い方、電話番号等情報の周知。
- 夏になったら使うのではないか。自身は使わない。
- 今のルートでは診療所まで遠回り。逆回りのルートもあれば便利。
- 周知が届いていない。
- 電気自動車がもっと走っていたら便利。
- 畑も回ってほしい。畑の周辺にトイレがない。

①新たな交通実証の方向性

- 今回の実証：津堅島の持続的な公共交通手段の確保に向けた実証実験 ※令和元年度・2年度実証：市産EV車両の販売促進のための離島交通モデル(津堅島に限定しない)の構築
- 生活交通については、島民意向を踏まえたタクシー型の運行を中心に検討する
- 観光交通については、実証時期が冬季になることも踏まえ、フェリーの発着時刻に合わせた定時定路線のバス型の運行に加え、島内事業者協力による島内周遊観光・貨客混載などの運行について実証する
- また、津堅島における持続的かつ利便性の高い公共交通体系の調査のため、考えられる移動サービスを幅広く実証し、結果を基に今後の運行方策を絞り込む



②実証運行計画【第1期】12月中旬～1月末

タクシー型運行（予約型）

- キャロタクの実証運行内容を参考に、平日毎日（週5日）の運行に集約し、ドライバーの休日確保
- タクシー型運行で小回りが利くように、4人乗り車両で運行

項目	内容	備考
実証期間	令和4年12月16日～令和5年2月28日	12/30～1/3は運休
運行曜日	毎日	計71日間（2月末まで）
運行区域	津堅島全域	
運行方法	フルデマンド方式	
ダイヤ	9:00～15:00	12時台は昼休憩
車両	YG-M（4人乗り）	
予約方法	携帯電話直通＋予約システム	15分前予約（システム30分前）
料金	無料	実証期間中
運行事業者	シルバー人材センター	運行管理を含む
事業法届出	無し	無償のため



YG-M（ナンバー付）  
 ・4人乗り  
 ・最高速度：19km/h  
 ・1充電走行距離 約40km

バス型運行（定時定路線型）

- キャロバスの実証運行内容を参考に、主要施設間を連絡（キャロタクの運行を補間しつつ、観光来訪施設への送迎を主眼として運行）
- 大人数での利用も考慮し、7人乗り車両で運行

項目	内容	備考
実証期間	令和4年12月16日～令和5年1月31日	12/30～1/3は運休
運行曜日	毎日	計43日間
運行区域	島内主要施設循環	
運行方法	路線定期運行	
ダイヤ	固定ダイヤ	
車両	AR-07（7人乗り）	
予約方法	予約なし	
料金	無料	実証期間中
運行事業者	シルバー人材センター	運行管理を含む
事業法届出	無し	無償のため



AR-07（ナンバー付）  
 ・7人乗り  
 ・最高速度：19km/h  
 ・1充電走行距離 約40km

③運行路線図



④指定乗降場の位置

No	施設名	住所
1	津堅港ターミナル	うるま市勝連 津堅
2	津堅公民館	うるま市勝連 津堅27
3	ホートゥガー	うるま市勝連 津堅1276付近
4	津堅小中学校	うるま市勝連 津堅1327-2付近
5	展望台前	うるま市勝連 津堅1575付近
6	津堅公園	うるま市勝連 津堅1544付近
7	神谷荘	うるま市勝連 津堅1472
8	トウマイ浜	うるま市勝連 津堅2629-1
9	民宿おうち	うるま市勝連 津堅1524付近
10	津堅診療所	うるま市勝連 津堅1582付近
11	簡易郵便局	うるま市勝連 津堅1229付近
12	あずま商店	うるま市勝連 津堅1195付近

⑤運行ダイヤ案 (バス型運行<定時定路線>)

平均時速 10 km/h

接続	フェリー/高速船					くがに		くがに		くがに		高速船
	平敷屋港					9:00		11:00		14:00		17:00
	津堅港					9:30		11:30		14:30		17:15

	距離 (m)	区間時間 (分)	転回時間 (分)	hh:mm	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
1 津堅港ターミナル		0		0:00		9:40		11:40	13:55	14:40	16:25	17:25
2 津堅公民館	400	2	1	0:03	9:00	9:43	11:00	11:43	13:58	14:43	16:28	17:28
3 ホートゥガー	800	5		0:05	9:05	9:48	11:05	11:48	14:03	14:48	16:33	17:33
4 津堅小中学校	450	3	1	0:04	9:09	9:52	11:09	11:52	14:07	14:52	16:37	17:37
5 展望台前	100	1		0:01	9:10	9:53	11:10	11:53	14:08	14:53	16:38	17:38
6 津堅公園	100	1		0:01	9:11	9:54	11:11	11:54	14:09	14:54	16:39	17:39
7 神谷荘	500	3		0:03	9:14	9:57	11:14	11:57	14:12	14:57	16:42	17:42
8 トウマイ浜	200	1	1	0:02	9:16	9:59	11:16	11:59	14:14	14:59	16:44	17:44
9 民宿おうち	450	3	1	0:04	9:20	10:03	11:20	12:03	14:18	15:03	16:48	17:48
10 津堅診療所	250	2		0:02	9:22	10:05	11:22	12:05	14:20	15:05	16:50	17:50
11 簡易郵便局	150	1		0:01	9:23	10:06	11:23	12:06	14:21	15:06	16:51	17:51
12 あずま商店	150	1		0:01	9:24	10:07	11:24	12:07	14:22	15:07	16:52	17:52
2 津堅公民館	300	2	1	0:03	9:27	10:10	11:27	12:10	14:25	15:10	16:55	17:55
1 津堅港ターミナル	400	2		0:02	9:29		11:29		14:27		16:57	
	4,250	27										

接続	フェリー/高速船					くがに		くがに		くがに		高速船
	津堅港					10:00		12:00		15:00		17:30
	平敷屋港					10:30		12:30		15:30		17:45

⑥実証運行の様子

<バス停の設置>

- 各バス停にバス路線図と時刻表の設置をした
- 津堅港、津堅公民館にはA4板に加え看板を設置した

津堅島新たなモビリティ実証運行実施中

津堅港ターミナル

運賃 無料で運行します。

実証運行期間 令和4年12月17日～令和5年1月31日 ※12/30-1/3は休

キャロバス時刻表

	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
1津堅港ターミナル	9:40		11:40	13:55	14:40	16:25	17:25	
2津堅公民館	9:00	9:43	11:00	11:43	13:58	14:43	16:28	17:28
3ホートウガ	9:05	9:48	11:05	11:48	14:03	14:48	16:33	17:33
4津堅小中学校	9:09	9:52	11:09	11:52	14:07	14:52	16:37	17:37
5展覧台前	9:10	9:53	11:10	11:53	14:08	14:53	16:38	17:38
6津堅公園	9:11	9:54	11:11	11:54	14:09	14:54	16:39	17:39
7神谷荘	9:14	9:57	11:14	11:57	14:12	14:57	16:42	17:42
8トウマイ浜	9:16	9:59	11:16	11:59	14:14	14:59	16:44	17:44
9民宿おうち	9:20	10:03	11:20	12:03	14:18	15:03	16:48	17:48
10津堅診療所	9:22	10:05	11:22	12:05	14:20	15:05	16:50	17:50
11簡易郵便局	9:23	10:06	11:23	12:06	14:21	15:06	16:51	17:51
12あずま商店	9:24	10:07	11:24	12:07	14:22	15:07	16:52	17:52
2津堅公民館	9:27	10:10	11:27	12:10	14:25	15:10	16:55	17:55
1津堅港ターミナル	9:29		11:29		14:27		16:57	



<低速車走行中の設置>

- 車両に低速車走行中の注意書きを設置した



津堅島新たなモビリティ実証運行実施中

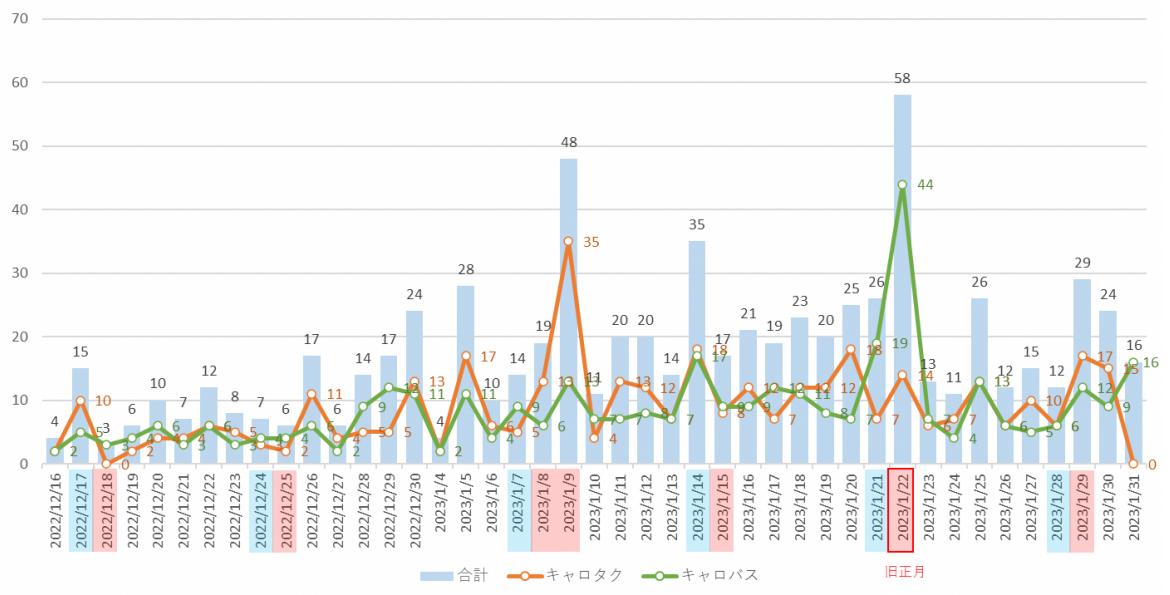
- フェリーの時間に合わせてバス・タクシー共に発着場で待機した
- イベント時にはバスが満員になり、追ってタクシーで運行する形態をとった
- 白い車両は予約不要でバス停で待つ、青い車両は電話予約が必要と口コミで広がり利用者が徐々に増えた



⑦ キャロバス・キャロタク利用状況

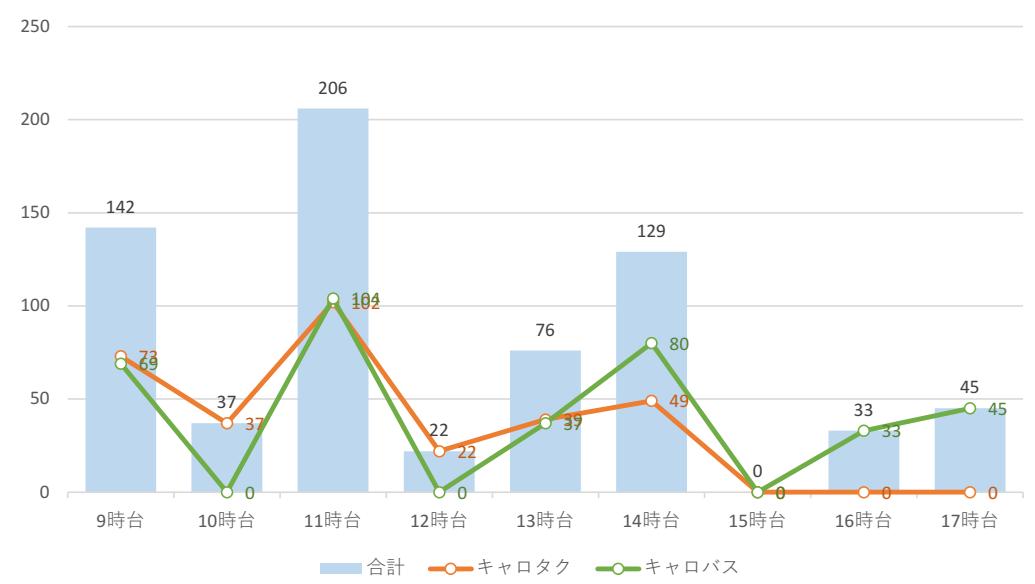
日別利用者数

- 運行開始から2023/1/31までの実証運行の結果、キャロバス378名、キャロタク368名、合計746名（日平均17.3人）の利用があった
- 日数が経過するとともに、利用者数が伸びてきている
- 1/9は観光客がグループで島の拠点を巡るために度々利用されており、キャロタクの利用が伸びた
- 1/22は旧正月のため親族が多く島を訪れており、ターミナルから自宅最寄りバス停までの利用が多かった



時間帯別利用者数

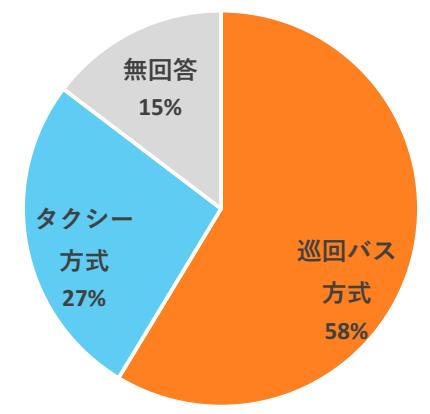
- 9～14時の時間帯は、キャロタクのほうがやや優先的に利用されている
- キャロバスのみが運行する16時以降も利用者が存在し、本島からの帰宅利用などでの利用が想定される



⑧ 島民アンケート結果 (参考)

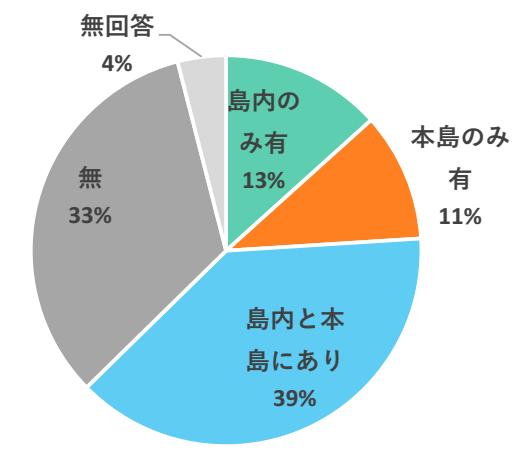
希望する移動サービスの内容について

- 期待する運行方式は、巡回バス方式が6割、タクシー方式が3割となっている



車両保有状況

- 島内に車両を保有する世帯が半数を占める
- 島内・島外ともに車両の無い世帯は3割となっている

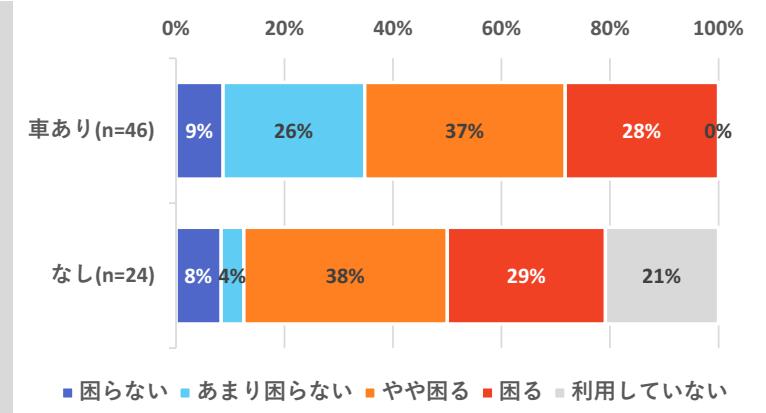


移動サービスの内容について

移動に関する状況

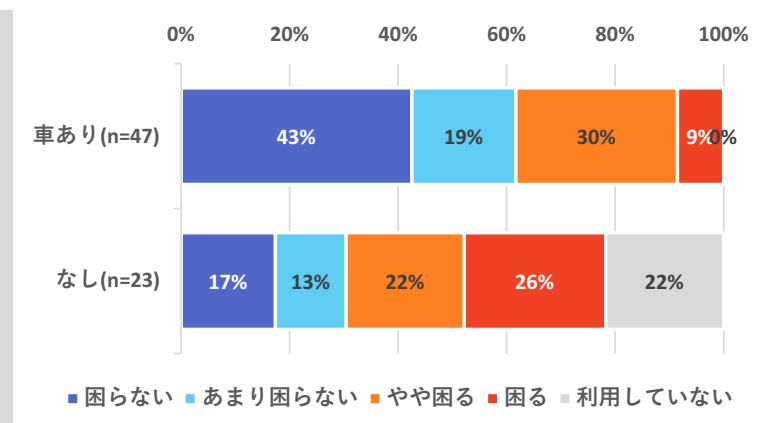
買い物

- 自家用車のない世帯のほうが買い物への困窮度が高い
- 自家用車がない世帯では、「買い物をしない」との回答も2割あり、他者に買い物を依存していると予想される



島内移動

- 自家用車のない世帯のほうが島内移動に困る割合が高が、車のある世帯でも島内移動に困る世帯が4割存在する
- 車のない世帯の場合、「島内移動しない」との回答も2割存在する



①島民ワークショップでの意見

交通についての地域の課題

<島内の移動>

- 島の人に頼んで謝礼を渡して送迎してもらっているという状況がある
- 本島に行くとき、来るときいずれも手土産などの荷物を多く持っている
- 診療所に行くときも誰かに送迎をお願いしている
- 重たい荷物を運ぶ時は本島から車で乗り入れている
- 乗合は問題ない
- 買い物代行など本島に住む家族が行っていることを代行できれば浸透すると思う
- タクシーやバスを運行するには公民館で予定を事前に伺うなどのフォローが必要な高齢の方もいる
- 高齢者も携帯電話を持っており電話予約することは可能
- 最終便(17:00平敷屋港発)で荷物を島内に運ぶ人が多い

<本島の公共交通との接続>

- 平敷屋港に着いた時の公共交通の接続を見直してほしい
- 平敷屋港までフェリー最終便に間に合う公共施設間連絡バスの便が欲しい

<そのほか>

- 英語のマップや観光案内所などの観光客への支援がもっと必要と感じる
- 島の決め事は公民館で公平に行うことが大切だと思う

交通について将来のあるべき姿

- 目的地に直接行けるタクシーの方が需要が多いと思う
- 歩けない人のためには家の前まで行く必要がある
- フェリーとの接続が良いダイヤを希望する
- 隣近所の人で支えあって予約できない人を無くすことが大切
- 島内で荷物を運んでくれるサービスが欲しい
- 地場産業（レンタルサイクル等）を“便利”という理由でつぶさないように共存しなければならない
- なるべく島内の事を知っている島内事業者でお金が回る仕組みを作りたい

②島内事業者からの意見

レジャー施設  
従業員



- 夏の繁忙期になると島のレンタルサイクルが無くなり、レジャーの人を運ぶ各施設の車も港と何度も往復が必要になる
- 観光客は9:00（平敷屋）→15:00（津堅港）、従業員は9:00（平敷屋）→14:00または17:00（津堅港）便を利用している
- 船が来るときには港にいる必要がある
- 畑の道は草が茂っている箇所があるが、ボランティアで刈る予定
- 島内で周知するには直接放送するのが速い
- 繁忙期になるとガソリンを携行缶で1日10個ほど本島から運ぶ
- 水曜日の2時便はガスの輸送があり、ガソリンやポンペを運べない
- 島民の合意を得られないと事業として浸透することが難しい

福祉施設従業員



- 白はバス型、青は電話が必要と利用者から聞いた。利用されていると感じている
- 毎日食材や日用品を港に取りに行っているが、免許保持者も限られるため、人手を割くのが大変。
- 本島の家族や本島から通う職員に買い物を依頼されることがよくある
- 島内での相場観がある（掃除2万円、送迎1,000円等）
- 島内でお金が循環しているため、隣人に支払ってをお願いすることはあるが、公共手段に同額は払わないと思う
- 買い物代行は浸透するのが速そう

教育施設従事者



- 教育委員会からの許可次第では毎日の給食の荷物など、荷物の輸送は依頼したい
- 通勤者は朝一便と最終便を利用するためそれに接続する公共交通があると非常に助かる

バス運転手



- 島に浸透してきていると感じる。続けていきたい
- ホットッガーでおりる人はほとんどいない
- ルートは逆方向にするよりも現在の時計回りルートの方が運転しやすい
- 運転手を島内で探す場合、島の人を優先しつつ誰でも許可するのではなく、モラルを守れる人を選択する事

船乗組員

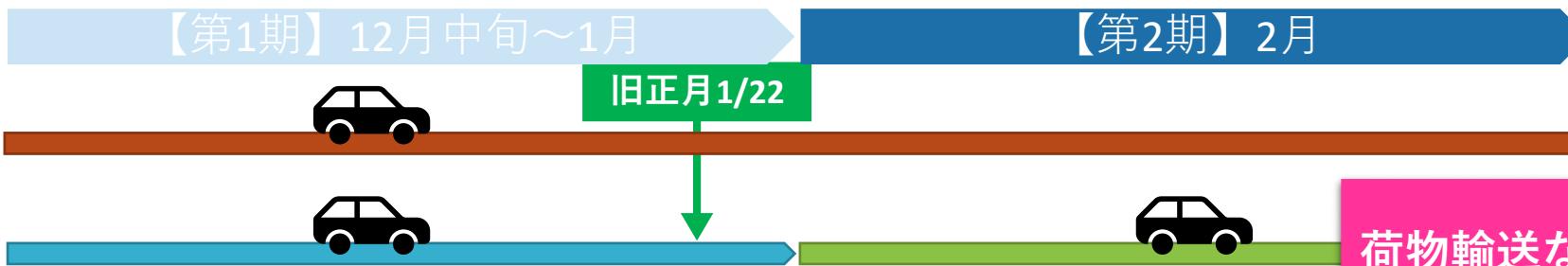


- バスのルートが良くないという声を聞いた
- 車のない島民の荷物を島に車のある船員が家まで送ることもある

商店



- 個人に特別なものを依頼されて仕入れることはない
- 定期配送されるものはパン、牛乳、お酒があげられる
- 大きな配送物はクーラーボックス・ビール・アイス（ケース買い）がある
- 個人の車で運ぶのは荷物が多く大変な時もあるが、船の乗組員が車に乗せてくれるため助かる



荷物輸送など、様々な取組みに車両を活用！

①実証運行計画【第2期】2月

タクシー型運行（予約型）

- バス型の運行のダイヤ改正に伴い、運行時間を延長

項目	内容	備考
実証期間	令和5年2月1日～令和5年2月28日	
運行曜日	毎日	計28日間（2月末まで）
運行区域	津堅島全域	
運行方法	フルデマンド方式	
ダイヤ	9:00～18:00	12時台は休憩
車両	YG-M（4人乗り）	
予約方法	携帯電話直通	15分前予約を基本
料金	無料	実証期間中
運行事業者	シルバー人材センター	
事業法届出	無し	無償のため

バス型運行 + α

- バス型の運行を基本としながら、島内の荷物の輸送等、運行内容を変更した津堅島独自の運行を目指す
- 運行内容はSNSや掲示板で発信を予定

項目	内容	備考
実証期間	令和5年2月13日～令和5年3月3日	
運行曜日	毎日	計19日間
運行区域	津堅島全域	
運行方法	路線定期型（荷物輸送のみの場合はデマンド型）	
ダイヤ	9:00～15:00はバス運行を基本 合間の便等で荷物等を輸送	
車両	AR-07（7人乗り）	
料金	無料	実証期間中
運転手	神谷荘	
事業法届出	無し	無償のため



YG-M（ナンバー付）  
 ・4人乗り  
 ・最高速度：19km/h  
 ・1充電走行距離  
 約40km



AR-07（ナンバー付）  
 ・7人乗り  
 ・最高速度：19km/h  
 ・1充電走行距離  
 約40km

# 津堅島よろずカー

さまざまなニーズにお応えします!



AR-07 (ナンバー付)  
 ・7人乗り  
 ・最高速度：19km/h  
 ・1 充電走行距離 約40km

運行内容の企画

企画部会 (1/31) にて検討し、バス型 + 荷物輸送を開始いたします!

広報・PR

運行内容は、SNSや掲示板 (港・公民館など) に掲示します。お楽しみに!

運転手

島にお住いの方々などから、アルバイトとして運転を担っていただける方を募集した結果、2月中は神谷荘にて運転を担っていただくこととなりました!

周知チラシ

実証第二弾 無料

津堅島の電動モビリティ よろずカーはじめます。

運行期間 令和5年2月13日～令和5年3月3日

バスとしての運行時間の合間に、荷物を目的地までお届けします。お荷物予約受付 2日前までにお電話下さい。090-7221-6318



● 荷物の輸送

- 【将来的に・・・】
- 移動販売
  - 本島方面への買い物代行
  - 島内ツアー
  - 居酒屋バス ……

津堅島よろずカー

- 島の様々なニーズに対応すること
- 移動サービスを持続的に運行できるようにすること
- 島民の支え合いに活用すること



コース

時刻表

	1便	2便	3便
1津堅港ターミナル	9:35	11:35	14:35
2津堅小中学校	9:37	11:37	14:37
3展望台	9:38	11:38	14:38
4津堅公園	9:39	11:39	14:39
5神谷荘	9:41	11:41	14:41
6シークルーズ	9:43	11:43	14:43
7民宿おうち	9:45	11:45	14:45
8津堅診療所	9:46	11:46	14:46
9簡易郵便局	9:47	11:47	14:47
10あずま商店	9:48	11:48	14:48
11津堅公民館	9:50	11:50	14:50
1津堅港ターミナル	9:53	11:53	14:53

キャラタクも2/28まで運行中

運行時刻 9:00 ~ 18:00

タクシー予約受付 080-8761-0762

無料

利用の15分前までに予約をしてください。(電話に出られない場合は留守電をご活用ください。)

# 津堅島よろずカー

## 路線図



## 固定ダイヤ

その他、合間時間で荷物の輸送や弁当の販売を予定しています！

接続	フェリー/高速船			くがに	くがに	くがに
	平敷屋港			9:00	11:00	14:00
	津堅港			9:30	11:30	14:30

		距離 (m)	hh:mm	1便	2便	3便
1	津堅港ターミナル		0:00	9:35	11:35	14:35
2	津堅小中学校	450	0:02	9:37	11:37	14:37
3	展望台前	100	0:01	9:38	11:38	14:38
4	津堅公園	100	0:01	9:39	11:39	14:39
5	神谷荘	500	0:02	9:41	11:41	14:41
6	シークルーズ	200	0:02	9:43	11:43	14:43
7	民宿おうち	450	0:02	9:45	11:45	14:45
8	津堅診療所	250	0:01	9:46	11:46	14:46
9	簡易郵便局	150	0:01	9:47	11:47	14:47
10	あずま商店	150	0:01	9:48	11:48	14:48
11	津堅公民館	300	0:02	9:50	11:50	14:50
1	津堅港ターミナル	400	0:03	9:53	11:53	14:53

				↓	↓	↓
3,050				↓	↓	↓
接続	津堅港			10:00	12:00	15:00
	平敷屋港			10:30	12:30	15:30
	フェリー/高速船			くがに	くがに	くがに

## ②実証運行の様子

### <バス停表示の更新>

- 路線と時刻を変更したバス停表示を以前のバス停に再設置した
- 荷物の運搬についても表記した

よろずカー運行中

ここは **津堅港ターミナル** バス停

運賃 **無料**

実証運行期間  
令和5年2月13日～  
令和5年3月3日

時刻表

	1便	2便	3便
1津堅港ターミナル	9:35	11:35	14:35
2津堅小中学校	9:37	11:37	14:37
3展望台前	9:38	11:38	14:38
4津堅公園	9:39	11:39	14:39
5神谷荘	9:41	11:41	14:41
6シークルーズ	9:43	11:43	14:43
7民宿おうち	9:45	11:45	14:45
8津堅診療所	9:46	11:46	14:46
9簡易郵便局	9:47	11:47	14:47
10あずま商店	9:48	11:48	14:48
11津堅公民館	9:50	11:50	14:50
12津堅港ターミナル	9:53	11:53	14:53

問い合わせ先: うるま市役所都市政策課都市交通係 098-923-7620

荷物の配送ご依頼

バスの運行時間の合間に、荷物のみの配送を承ります。荷物配送のご予約は**2日前まで**

☎090-7221-6318

津堅島電動モビリティ実証中



### <タクシー運行>

- ターミナルにキャロタク乗降場の表示をした。タクシー運行の時間変更と受付電話番号を周知するためカード型に必要事項を明記し、主要施設にて配布した
- タクシー運行は18時までとし、島内の運転手が運転を行った

**無料** キャロタク乗降場

**TAXI**

運行期間 令和5年2月28日まで

運行時間 9:00～18:00

タクシー予約番号 080-8761-0762

津堅島電動モビリティ実証中

問い合わせ先: うるま市役所都市政策課都市交通係 098-923-7620



**キャロタク** 津堅島

運行期間 令和5年2月28日まで

予約受付 ☎080-8761-0762

運行時刻 9:00～18:00

うるま市役所 都市政策課 都市交通係 098-923-7620

### <よろずカー運行>

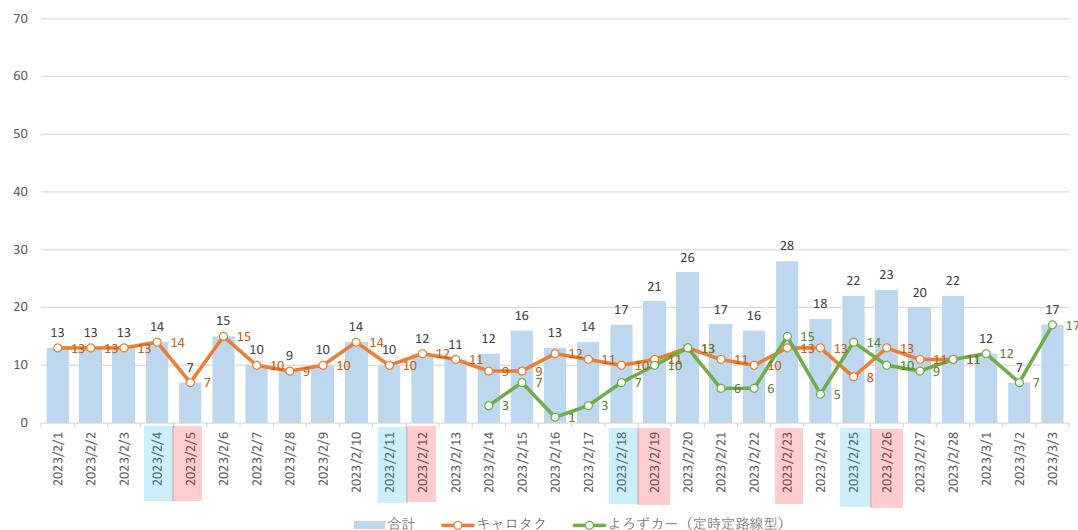
- 後ろ二列を荷物運搬用とし、2日前までに予約された荷物を輸送した。人の運搬を第一優先に、バスとしての運行の合間に荷物の輸送を行った
- 乗り切らない荷物はバス運行の後、港で積載し輸送した
- バス運行は昼間のフェリー3便と接続するように運行し、フェリー到着後5分後に港を出発するルートで運行した



③よろずカー・キャロタク利用状況

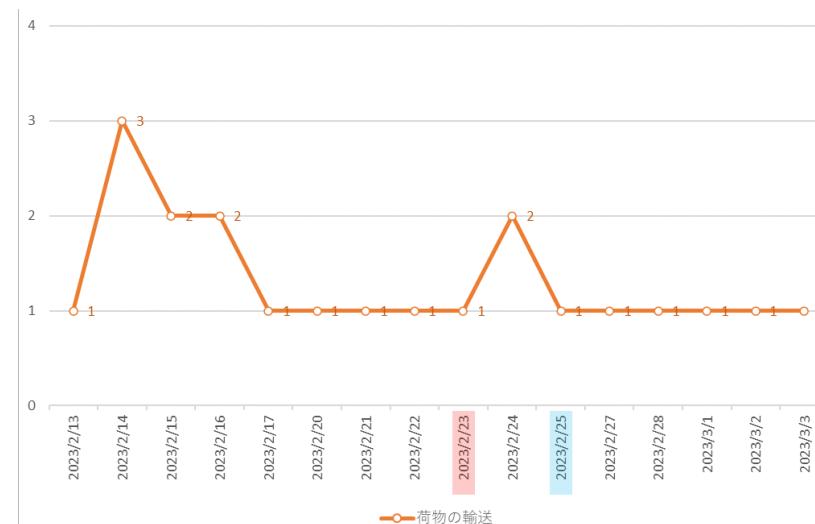
日別利用者数

- 2023/1/31運行開始から2023/3/3（キャロタクは2/28）までの実証運行の結果、よろずカー156名、キャロタク316名、合計472名（日平均15.2人）の利用があった
- 第一期実証の時の様に目立った祭日等の利用は無いが、毎日一定の利用があった



よろずカー荷物輸送利用者数

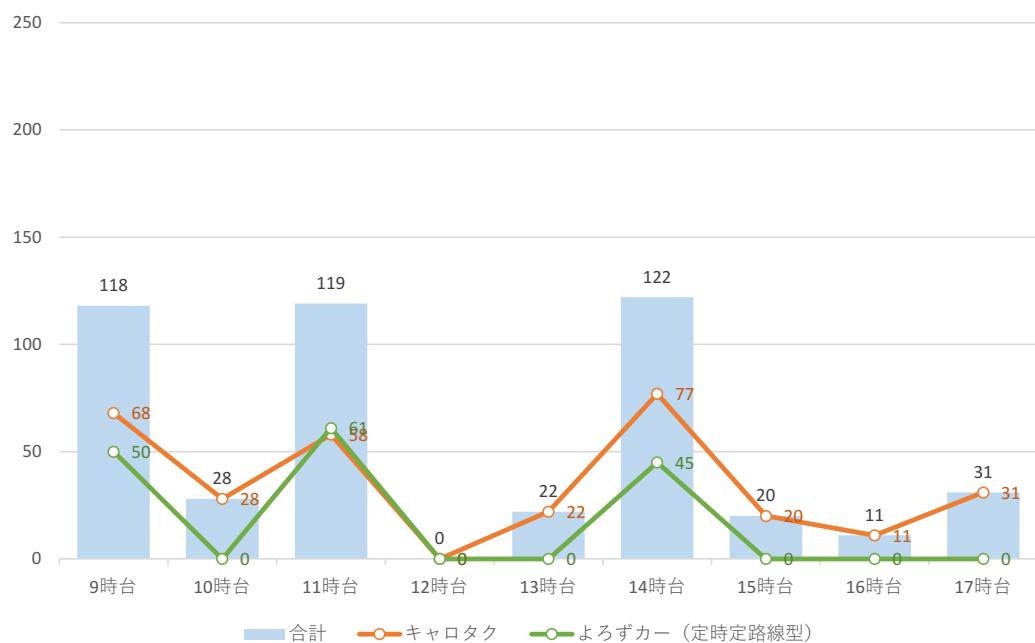
- 2023/2/13運行開始から2023/3/3（キャロタクは2/28）までの間、合計21件の荷物の輸送を行った
- いこいの家（地域支援ホーム）が平日毎日利用、あずま商店や個人利用が数件あった



移動サービスの内容について

時間帯別利用者数

- フェリーが到着する9:30、11:30、14:30の3便はよろずカー・キャロタクいずれもターミナルで待機した。この3便は第2期実証期間中、どの便も利用客が合計120名近くいた
- よろずカーが運行していない時間はキャロタクが運行し、どの時間帯も乗客がいた



②運転手からの意見

キャロタク運転手



- 島に浸透してきていると感じる。続けていきたい
- 島では高齢化が進んでおり、家の前まで送り届けてほしいという意見を耳にした。バス型運行よりもタクシー型運行の方が島民には使いやすいと感じた
- 徐々に利用してくれる人が増え、いつも同じルートでの利用が多かった

よろずカー運転手



- ダイヤは島民の移動ニーズに合っていると感じた
- 船到着から5分後に出発だと、荷物を車両に載せきれない時もあった(リフトが必要な荷物は難しい)
- 港以外のバス停からの乗車は少なかった(特に津堅公園と郵便局は少ない)
- ガイド付きで島を回ると観光客は喜んでた
- 観光と住民で利用者は半々位
- 住民はタクシーがメインで乗れない場合にバスを使っていた
- 荷物は住民個人のものよりも、事業者が多かった

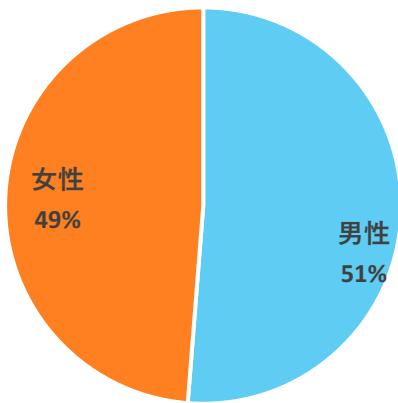
①回答状況

回答状況

- 3/7に全世帯、事業者を訪問し、実証実験の事後調査を実施した
- 島内で80名の回答があった
- 9割の回答者が島内に居住していると回答した

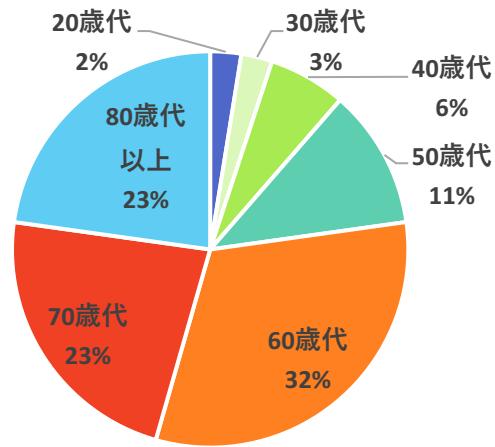
性別

- 男女比は半分程度であった



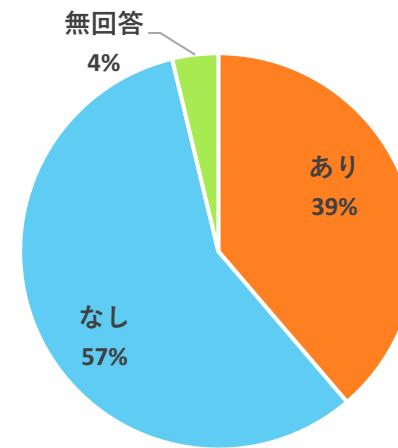
年齢

- 60歳以上の回答が約8割を占める



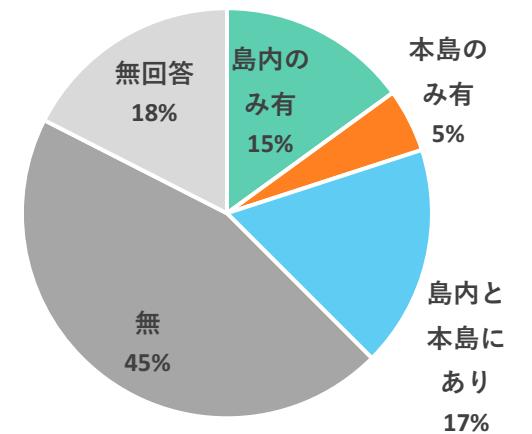
運転免許の有無

- 4割が免許を保有していると回答した



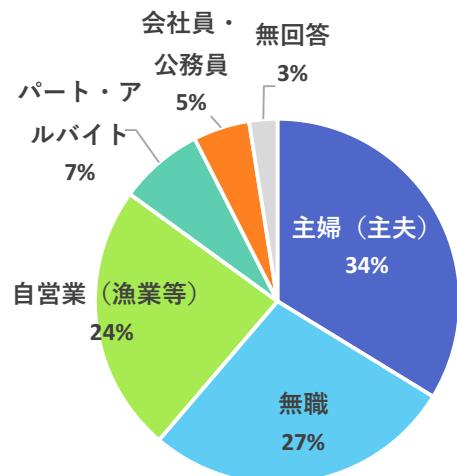
自家用車保有状況

- 自家用車を保有していないと回答した方が45%を占め、免許を持っている方は自家用車を保有していることがわかる



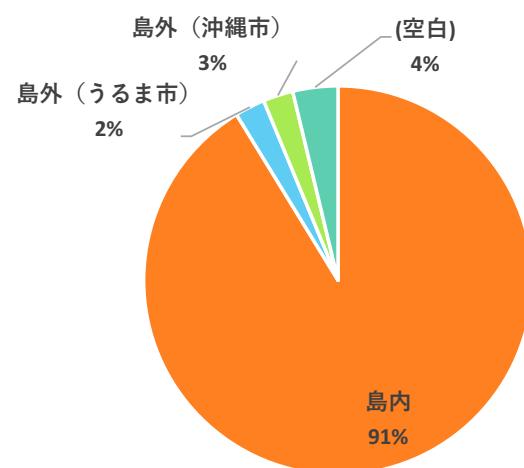
職業

- 「主婦（主婦）」「無職」「自営業（漁業等）」がそれぞれ約3割であった



居住地

- 9割の回答者が島内に居住していると回答した

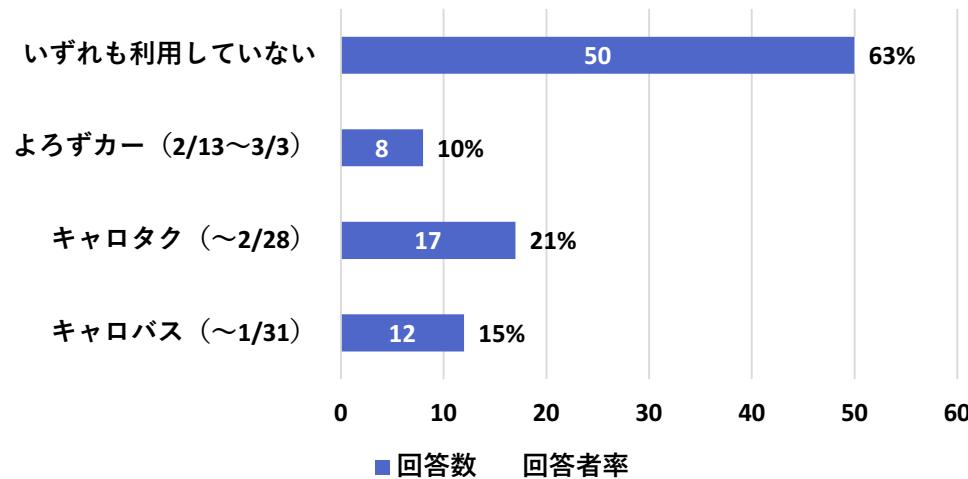


回答者の属性

②島民の利用状況

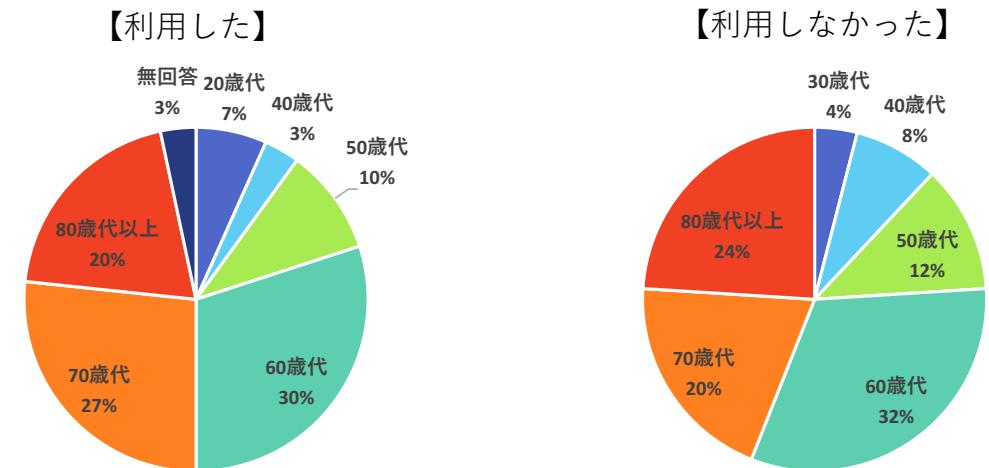
利用の有無

- 最も利用が多かったのは「キャロタク」(21%)であった。自宅まで送迎してくれるサービスへのニーズが高い
- 「いずれも利用していない」と回答した人は63%であった



利用の有無×年齢

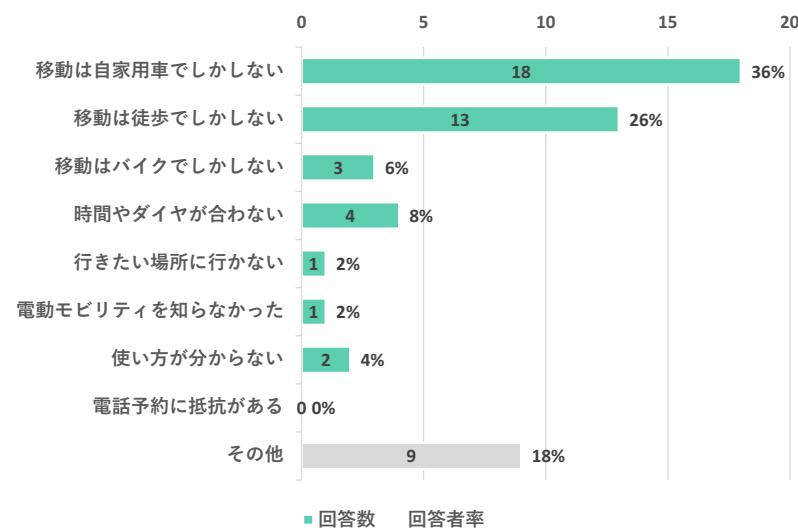
- 利用の有無は年齢に依存しない
- 「利用しなかった」と回答した人のうち「80歳以上」で「免許を持っていない」と回答した人は10名いた



移動サービス利用について

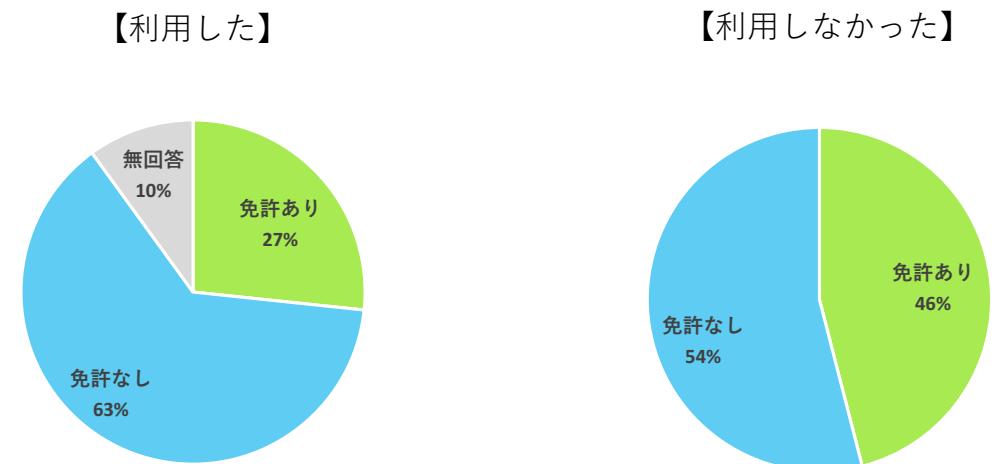
利用しなかった理由

- いずれも利用しなかった理由は「移動は自家用車でしかない」(35%)であった。次いで「移動は徒歩でしかない」(26%)であった
- その他意見で「知らなかった」と回答した人が4名いた
- 老人ホームや親せきの送迎でのみ移動していると回答した方が3名いた



利用有×免許有無

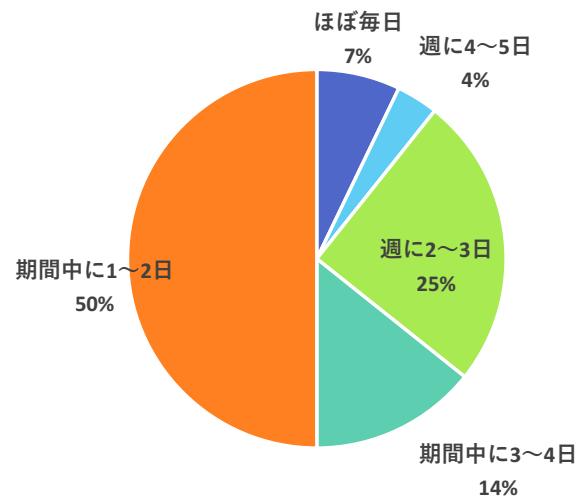
- 「利用した」と回答した人のうち「免許を保有していない」と回答した方は63%であった
- 免許を保有していないの方が利用率は高かった



② 島民の利用状況 (つづき)

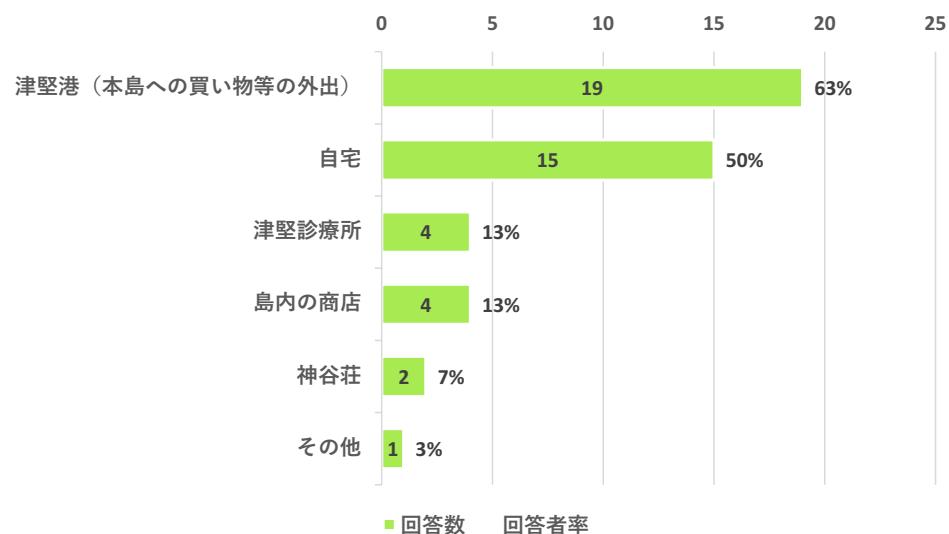
利用頻度

- 「利用した」と回答した人のうち、「期間中に1~2日」の頻度で利用したと回答した人は5割を占めた
- 「ほぼ毎日」「週に4~5日」「週に2~3日」と日常的に利用したと回答した人は36%であった



利用した際の目的地

- 利用した際の利用先は「津堅港」と「自宅」の行き来が多い
- 「診療所」や「商店」といった島内移動での目的や、「友人宅へ行くときに利用した」という意見もあった

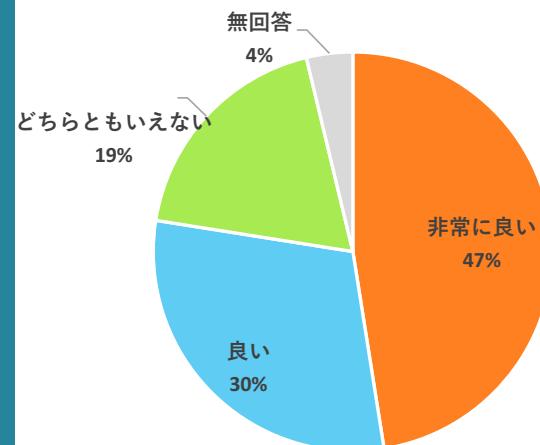


利用の仕方

③ 実証運行の効果

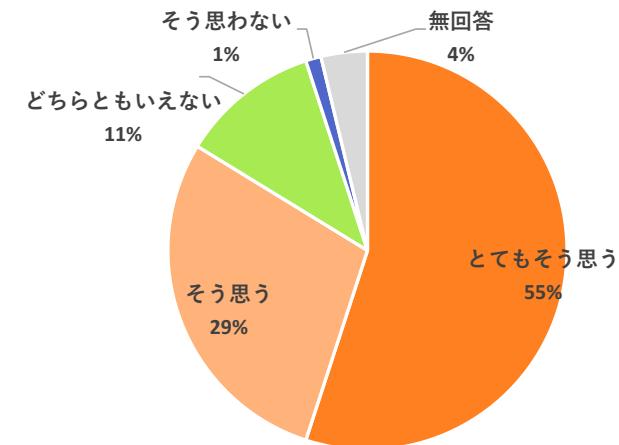
印象

- 「非常に良い」「良い」と回答した人が77%を占めた



継続してほしいと思うか

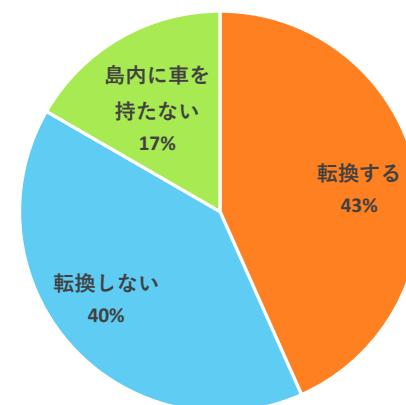
- 継続を希望する人が84%を占め、継続意向が高い



島民の意見

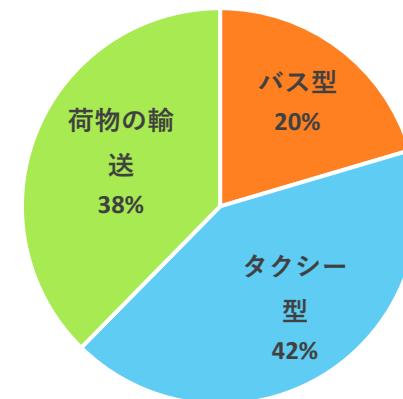
車からの転換意向

- 運転免許を持っている人のうち、電動モビリティがある場合「転換する」と回答した人が43%を占めた。
- 他地域に比べて、公共交通があることによる自家用車からの転換意向が強い



利用しやすい運行形態

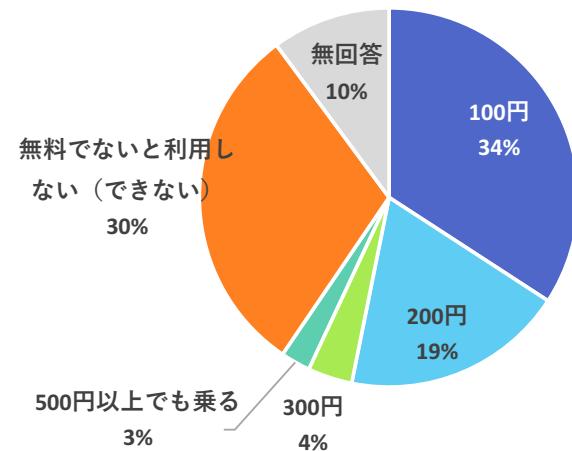
- 「タクシー型」や「荷物の輸送」が利用しやすいと回答した人が多く、自宅まで送迎、配送するサービスのニーズが高い



③実証運行において把握した課題

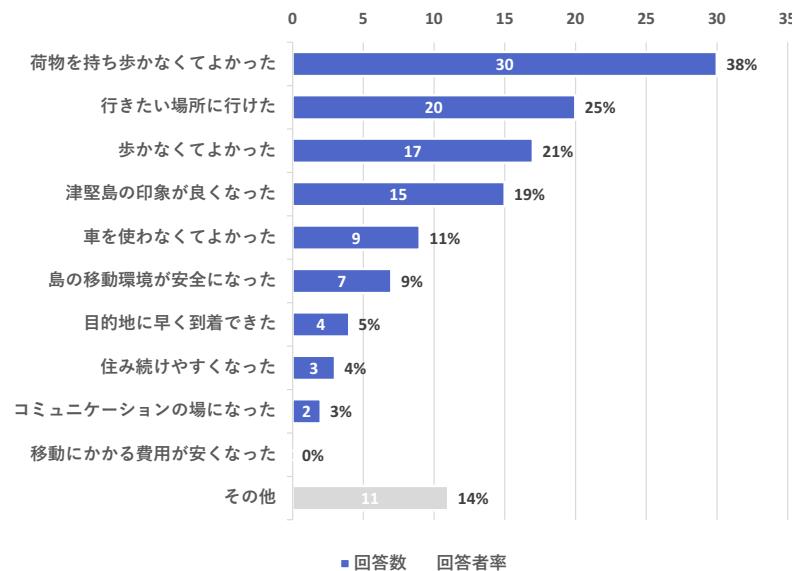
適切な利用料金

- 「100円」 (34%) と回答した人が最も多く、次いで「無料でないと利用しない (できない)」 (30%) と回答した人が多かった
- 島外から来た観光客からは500円以上でも乗りたいという意見もあった



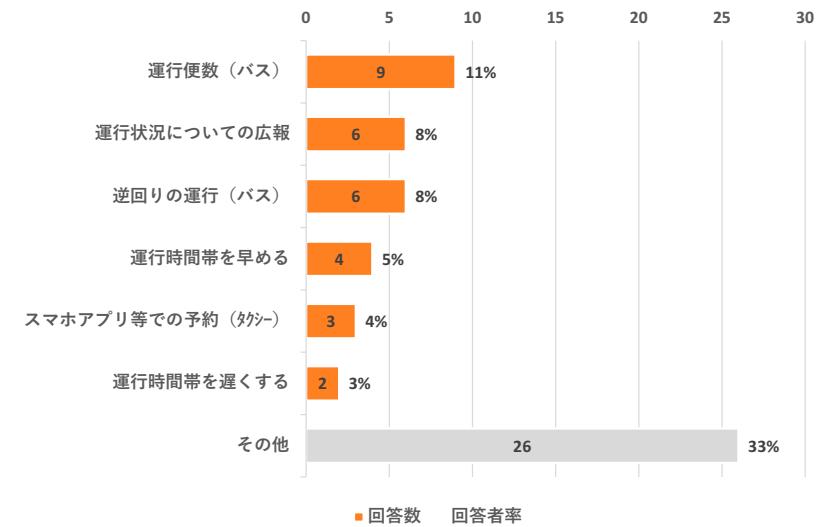
良かった点

- 最も多かったのは「荷物を持ち歩かなくてよかった」であり25%を占めた
- その他意見では「お年寄りが車を使わなくてよかった」「高齢者、病人にとってやさしい。」「観光にも良い印象」という意見があった



改善点

- 「運行便数 (バス)」 (を増やしてほしい) が最も多く18%を占めた
- 島内住民は1.5便の高速船を利用することも多いため、朝便と夕方便の運行を検討する必要あり



自由意見

- タクシーは呼んですぐ来て欲しい
- バスを待ってまでは利用しないと思う。
- 個人使用も検討して欲しい。
- 使い方についての周知が足りない
- 船の時間に合わせた運行が使いやすい
- 沢山荷物を載せたい
- 運転手が観光できるようなガイドをできると良い

## ①実証運行の効果

### ●島民や来訪者による高い利用ニーズ

日平均20人前後の利用があり、島民だけでなく、島内居住者を訪問する方、観光来訪者など多くの方に利用された。過去の実証実験を上回る利用がされており、長期間の実証により、日常的に高い利用ニーズがあることが確認できた。

### ●幅広い世代による利用、高頻度から低頻度まで様々な利用が存在

ほぼ毎日の移動に利用する高齢者、帰宅時に荷物がある際に利用する方、イベント時の利用、荷物だけの輸送など、様々な利用ケースがあることが確認できた。タクシー型、バス型問わず多くの利用があり、どちらも十分に活用されていた。

### ●津堅島の新たな移動手段として定着する期待感

島民の高齢化の進行により、高齢ドライバーも増加しているが、自家用車運転からの高い転換意向も確認でき、新たな移動手段として定着する期待が高い。また、徒歩や車など自身で移動する方であっても、島内の移動手段として必要との意見が8割を超え、実証期間中も十分に受け入れられていたと言える。

### ●人の輸送に限らない移動サービスとしての期待

島内には宅配事業者がいないことや、ガソリンスタンドが無いことなど、輸送に係る資源が乏しい課題が存在している。第2期実証において島内の荷物輸送の支援を行ったところ、島内の事業所や島民からの利用があり、人の輸送に限らない複合的な移動サービスとして展開する期待も高い。

## ②実証運行において把握した課題

### ●運行の担い手の確保

第1期実証では、本島から運転手を派遣しながら運行を行ったものの、通いであるため移動ニーズの多い夕方時間帯の運行を行えない（船に乗る必要があるため）という課題が存在した。一方、運行の担い手となりうる島民も少なく、安定的に運行を行える体制の確保が必要である。

### ●安全に運行できる環境・安全な車両保管場所の確保

島内の道路環境は良好とはいえ、また、路上駐車車両も多い。安全・安心に運行できるよう、島民理解の醸成と環境改善が望まれる。また、安定的に運行を行う上では、天候に左右されず、安全に車両保管・充電を行える場所の確保が必要である。

## ③今後の方向性

### ●継続的な運行の確保

島民・来訪者・島内事業所等からも高い運行継続への要望があり、利用も定着していることから、継続的に運行することが望ましい。利用ニーズは高く、可能な限り2台体制での運行が望まれる。曜日を問わず利用があり、毎日の運行を確保することも重要である。

### ●安定した運行を行える体制の構築

利用ニーズの高い夕方方の運行を確保するためには、島内居住者による運行が必要であり、これらのドライバーおよび安全管理体制を整えた運行体制を構築していくことが望ましい。遠隔の安全管理では島内の状況を十分に管理できるとは言えず、島内の事業として定着させていくことが重要である。

### ●島民・来訪者から期待されるサービスの提供

単純な人の移動だけではなく、観光周遊やモノの輸送など、EV車両を活用した多様なニーズが存在することが確認できており、運行に関する補助を得ながらも、一定の収入を得て自律的な運行を行えるサービスの提供を行うことが望ましい。買い物支援・代行など、実証では実現できなかったサービスもあり、今後もサービス内容を改善していくことが重要である。

### ●複合施設開発と連携したモビリティ事業の実施

安全な車両保管だけでなく、目的地と連携した運行により、さらに利便性の高いサービスとして定着することが期待される。現在進行中の複合施設開発計画と連携し、拠点間をつなぐネットワークとしてのモビリティとして定着させていくことが重要である。